

平成26年2月7日  
住友生命保険相互会社

## 新宿グリーンタワービル、日本建築家協会 2013 年度「J I A 2 5 年賞」受賞

住友生命保険相互会社（社長 佐藤義雄）が主要メンバーとして建築・管理に参画している「新宿グリーンタワービル」が、このたび、公益社団法人日本建築家協会の「J I A 2 5 年賞」を受賞いたしました。

「J I A 2 5 年賞」は、25年以上にわたり「長く地域の環境に貢献し、風雪に耐えて美しく維持され、社会に対して建築の意義を語りかけてきた建築物」に贈られる栄誉ある賞です。

新宿グリーンタワービルは、超高層事務所ビル・共同住宅・寺院・ガソリンスタンドの複合的な街づくりを形成する先駆的な市街地再開発プロジェクトとして、1986年に完成いたしました。当社はその計画段階から今日に至るまで、共同地権者、設計・施工・管理会社、テナント企業、地域コミュニティの皆さまと手を携えて、人々に愛される建築物の維持に主体的に参画してまいりました。

このプロジェクトに関わるすべての人々の熱い想いと長年の努力を評価いただいたものと深く感謝するとともに、今後とも賞にふさわしい地球環境づくりに努めてまいります。

以上



### 新宿グリーンタワービル

（西新宿浄風寺周辺地区第一種市街地開発事業）

- ◆所在：東京都新宿区西新宿6丁目14番1号
- ◆規模：地上29階、地下4階、地上109m
- ◆敷地面積：6,913㎡
- ◆建物面積：55,373㎡（全体）  
52,310㎡（内、オフィス棟）

<ご参考>

### 公益社団法人 日本建築家協会（J I A）について

日本建築家協会（The Japan Institute of Architects）は、建築の設計監理を行う建築家の団体として、1987年に結成されました。

日本建築家協会の会員は、建築がクライアントの大切な資産であると同時に、公共にとっても重要な社会的資産であると考えています。そして建築の設計監理を行う者すなわち建築家は、一定の知識・技術を持ち、その責任を負うにふさわしい高度の業務遂行能力と倫理意識を持つ必要があると考えています。日本建築家協会は、そのような建築家の資質の向上および業務の進歩改善を図ることを通じて、建築物の質の向上と建築文化の創造・発展に貢献することを目的として結成された団体であり、この目的のために建築家憲章、倫理規定・行動規範および懲戒規定を会員の総意に基づいて定め、自主自律の団体運営を行っています。

欧米では古くから各国で建築家団体を結成し、自主運営によって建築家はその職業的責任を果たしていく上で必要な活動を行ってきました。日本建築家協会は、諸外国の団体と同じ性格を持つわが国唯一の建築家の団体として、ユネスコの外郭団体である国際建築家連合（UIA）の日本支部となっています。

日本建築家協会に加盟する5,000余名の建築家は、厳しい自己研鑽を行い、高い倫理意識を持って設計監理の業務を遂行することを通じてクライアントと社会公共のために貢献し、より豊かで美しく安全な国土と都市と建築の建設に貢献していきたいと考えています。（同社ウェブサイト：<http://www.jia.or.jp/>）

### 「J I A 25年賞」について

「J I A 25年賞」は、25年以上に亘って「長く地域の環境に貢献し、風雪に耐えて美しく維持され、社会に対して建築の意義を語りかけてきた建築物」を表彰し、あわせて「その建築物を美しく育て上げることに寄与した人々（建築家、施工者、建築主また維持管理に携わった者）」を顕彰することにより、多様化する価値基準の中で、建築が果たす役割をあらためて確認するとともに、次世代につながる建築物のあり方を提示することを目的とします。